

雇用だより

平成23年9月号

岩船郡村上市雇用対策協議会
ハローワーク村上

雇用対策協議会定時総会、表彰式、広域圏雇用促進懇談会を開催

去る6月7日、雇用対策協議会の定時総会が、大観荘せなみの湯で開催され、議案の「平成22年度事業経過報告並びに収支決算」、「平成23年度事業計画並びに収支予算」等について審議が行われ承認されました。

その後の広域圏雇用促進懇談会では、本田コンサルタント事務所代表本田有明氏より、「若手が育つ会社、育たない会社」と題し講演をいただきました。

冒頭、今回は若者の立場に立ってお話したいと、「いまどきの若者はたいしたものだ」と考えてみませんかと講師が参加者に語り掛け講演が始まりました。

今までに無い、雇用する立場とは逆の視点のお話に、参加された会員からは、新鮮で興味深く聴かせていただいたとの声を多くいただきました。

講演の内容は、今回取材をいただきました7月31日付けの村上新聞9面に詳しく取り上げていただきましたので、是非ご覧ください。

また、定時総会の後、次の方の表彰式が行われ、併せて記念品の贈呈が行われました。

障がい者雇用優良事業所表彰	株式会社 公衛社 様
高年齢者雇用優良事業所表彰	株式会社 丸大大滝商店 様
優良勤務障がい者表彰	斉藤 和樹 様 (㈱わら竹勤務)
障がい者職場適応優良援助者表彰	佐藤 節子 様 (㈱わら竹勤務)

受賞おめでとうございます

7月5日、下越北地区校長会村上高校学校長、村上市長、ハローワーク所長より来春高校卒業予定者の採用枠拡大について要請を受けました。

これは、東日本大震災の影響など依然景気が低迷している中、24年3月高等学校卒業予定者の求人が不足することが予想されることから、生徒の就職活動が本格化する前に採用枠の拡大を地元産業界に要請するため行われたもので、当協議会からは、会長の(株)高建・高橋社長、副会長の斎藤社会保険労務士事務所・斎藤次長、村上印刷(株)・斎藤社長が出席し、また、商工会議所の佐藤会頭、益田副会頭、板垣専務理事も同席されました。

最初に、市村学校長から佐藤会頭に、ハローワーク山崎所長から高橋会長にそれぞれ要請書が手渡され、市村学校長から、生徒の進路状況について説明があり、求人の確保等についての要請がありました。それを受け、高橋会長からは、国の雇用維持制度を活用し雇用を維持している厳しい状況でもあるが、十分趣旨は理解できるので、会員企業に対し周知、協力を行うとの説明がありました。その後、意見交換が行われ、それぞれの産業における状況の説明があり、また、瀬賀村上市商工観光課長からも市の施策について説明がありました。

要請文と依頼文を添付いたしましたので、ご協力をよろしくお願いいたします。



要請を受け懇談する出席者（中央右・高橋会長、左・佐藤会頭） 村上商工会議所 会議室

平成23年8月吉日

会員 各位

岩船郡村上市雇用対策協議会
会長 高橋 賢一

高卒求人の早期申込みと 正規採用枠拡大のお願い

謹啓 盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃から当協議会事業運営につきましては、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、7月5日に村上市及び村上公共職業安定所、下越北地区校長会の3者が村上商工会議所を訪れ、当協議会並びに村上商工会議所に対し、学卒求人の早期申込みと正規採用枠の拡大について要請がありました。**(要請文は右頁の通り)**

ハローワーク村上管内の来春高校卒業予定者(村上高校、村上桜ヶ丘高校、村上中等教育学校、荒川高校)は602人で、その内就職希望者は72人(12.0%)となっており、ここへ中条高校の就職希望者30人を加えると、**合計102人の就職希望者**がおります。7月25日時点での**求人数は30件、78人**と非常に厳しい状況となっております。

就職希望者は、村上・岩船地域の将来を担うべき貴重な人材です。厳しい経済情勢ではありますが、**希望者全員の就職が実現できるよう、早期の求人申込みと採用枠の拡大について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。**

なお、求人申込みにあたっては、高校生の応募先決定時期になります、お盆までをお願いいたします。また、まだ採用計画がはっきりしない事業所におかれましては、お盆が過ぎた場合においても計画が決まり次第、できるだけ早期に申込みくださいますようお願い申し上げます。

謹白

〔裏面をご覧ください〕

岩船郡村上市雇用対策協議会

会長 高橋 賢一 様

謹啓

初夏の候、貴協議会におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、岩船・村上地域の雇用対策の推進にあたりましては、日頃から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、世界的な金融危機により急激に悪化した景気は、一部に持ち直しの動きがあったものの、今年3月の東北地方太平洋沖地震の影響もあり、5月の新規求人は前年同月比で17.5%減少するなど依然として厳しい状況が続いています。

また、平成23年3月の高等学校卒業者の就職状況は、3月末で100%に達したものの、求人数は例年に比べると6割程度に落ち込んでおり、平成22年3月の新卒者同様厳しい状況となりました。

このような厳しい状況の中、新卒者の就職促進と、新卒者雇用による村上地域活性化のために、6月・7月を「学卒者求人確保強化月間」と定め、例年に増して各方面に対し、正規採用枠の拡大について理解を求めていくこととしております。

つきましては、雇用には厳しい状況とは思われますが、希望者全員の就職を実現するためにも、高校生の応募先決定時期になります夏休み（できればお盆まで）に、積極的かつ早期に求人の申し込みを、貴会員事業主に呼び掛けていただくようお願いいたします。

謹白

平成23年7月

村 上 市 長 大滝 平正



村上公共職業安定所長 山崎 俊輔



下越北地区校長会 村上地区代表

新潟県立村上高等学校長 市村 徹

